時事新報

過度の教育

ドクトル セメンズ原文　醒譯

五十年來世界の文明諸國に於て各科の教育何れも大に世人の注意する所と爲り且その進歩をおせしことは歴史上に例を見ざる所なり早歳の兒童に萬種の知見を得せしめんとして之に強ゆるに非常の勉強耐忍を以てし貧民の子も富人の子も之を教るが爲めには書籍を授け良教師を雇ひ都て公費に依頼して其仕組備らざるなき或る國にては其父母及び自身の諾否如何に拘らず法と以て公立學校の入學を強迫し讀書上の知見と兒童の腦中に充滿せしむるゝ人間の道德、身體、智識の程度を改良もるの最好方便なりと信じて疑はさるものゝ如くて年を經るに隨ひ兒童早年の學習に適當ある簡單、容易なる學科は次第に繁雜に赴き其科目さへ次第に數多くおりて遂には兒童ゞ早歳の數年間に修むべき科程も人間世界にあらゆる各科の知見を含有するに至りぬ世の中に教育の眞意と其實價とを知る者の少なきは實に驚くに堪へたる事共にして蓋し世の父母たる者及び教育家の考にては幼者の腦髓に學問上の事理を注入するほどいよ〳〵多ければ後日一個人として義務責任と偉人の感覺いよ〳〵深況に至る可しと信するもの丶如し世間の言に我々い死に臨み一錢を子孫に遺す能いざるもろの教育の事に於ては我々の能ふ所と盡したれば夫より以上の事に至てい子孫自ら之を爲すべしとは往々我輩の聞く所にして世の父母たるものは子孫教育の爲め終生勞役に辛苦して自らその快樂を抑損するものある程なるに教育の實際を見れゞ徒らに實用に迂濶おる學問上の事理と兒童の腦裡に注入する事のみと務め既ふ其成蹟の疑はしきのみおらず却て有害の結果を見ることゝ少おからず若しも玆に人ありて日夜絶えず飲食して胃腑を滿すものゝあらば其食物の過半い消化せずして胃病を引起すまでおらん即ちその食物が身體に榮養を與へずして却て之を衰弱せしめたるによるのみ若し之に反し飲食の量を減じ且つその度を節するときは胃中の食物悉く消化して其身の健康、疑ひおゝるべし今の教育法い豈に之に類することなからんや兒童は早歳にして學校若しくい幼稚園に入り教育と稱する知見と得るの職業ふ就かしめらるゝ事おるが斯くの如くして腦裡に注入されたる知見の大半は固より之れを消化するの力おく恰も過度の食物と滿しさる胃腑と一般、一種の不消化病と釀もに至るもの多し左れゞ強迫の教育は人間の能力を強先ずして却て之を弱ふするの結果を見るものにして西洋諸國の實例によるに強迫教育の下に成業したる優等の學生は却て實地の働きに乏しくして後年ふ失敗もる者ふ多けれ日本に於ても亦必ず同樣なるべし抑も強迫教育の仕組は獨り兒童の腦力と弱むるに止まらず身體をも害するゆと甚しきものにして蓋し學生が永く空氣の流通あしき講堂に閉籠り運動を おもそこと極めて少なく且つ飲食の屢ば〳〵其度と失ふゞ如きは次第に健康を害もるの原因とおり卒業の證書を得る間もなく肺勞の爲めに夭折するもの少なしとせず而して女子教育の過急過度おるに至ては其健康と害することゝ男子よりも甚しきものあり過度教育の疑問は現に西洋諸國ふ於ても學者の苦慮もる所にして聚するに過度過急の教育と幼者の腦髓ふ注入するは大に誤れるものなりとの說、學者の間に勢力を得るに至れり而して單に學問上の教育のみを受けたる者は實業家たる能いずとの說も亦一般の許す所にして若しも二十一乃至二十二歳に至るまで强迫注入の法によりて學生を教育するゆともわらば過半は實業家たるの性質と失ふに至るべし故に歐米諸國ふては其子の實業家たらん事と希望する者は其家の富めるにも拘はらず高等の教育を受けしめずして却て學者たるに緣の遠き實際上一般の知見を得せしむるふ過ぎず女子の教育も之と同樣にして謂所高等教育を受くる者は社會の上流に位する少數の女子に過ぎずして從來の經驗によるに高等の學校を卒業したる女子は唯その健康を害するのみならず之を簡易なる科程を修めたる者に比するゆ良妻賢母たるの資格に於ていい却て欠くる所多しと云ふ畢竟今の世界の教育の局に當る者が子女の成後に關する實際の經驗と有せざるゞ爲めにして彼等い精神の府にして且つ思想の源さる幼者の腦髓を見て以て鐵製の函となし幾多の物質と其中に塡充せんとし腦髓なるものは唯、顯微鏡を以て見るべ允極めて微細なる纖維より成れる動物界中、最も微妙にして入込たるものにて之れを用ふること度に過ぐるときは猶ほ老朽したる護謨彈機の如く其彈力を失ひて遂に廢物に歸するものたるを知らざる者なり元來教育上に心身の健康に關する事柄は實に肝要の問題にして各學校の管理は經驗ある醫士社會の支配に歸し之に任もるに學校の衛生及び健康法に關する一切の全權を以てもるも可なる程の次第にしてゆの一事に就ては我輩は唯從來の醫士輩が定允さる空氣の流通、身體運動の事のみを云ふにあらず猶ほ其上に精神の衛生法其他腦力の堪ふべき勉强の度如何等を云ふものにして之を再言すれば學校課程の科目及び授業の時間等は全く經驗堪能ある醫士の權内に任せんとするものあり然るに我輩の聞く所によれば今の學校に於てこの事の行はるゝは殆んど絶無の有樣にして現に東京に於ても幾多の經驗堪能ある醫士中、精神衛生の事に關し教育當局者の相談を受けたる者は曾て之おしと聞けり左れゞ現今の教育の仕組に於て日々幾千の兒童に計るべからざるの害を與ふることは明白にして經濟上より之を考ふるも過半は實價おく允學問上の事理を兒童の腦髓に注入するは有害無益の事と云はざるを得ざるおり

官報

○大藏省告示第四十二號

本月抽籤ヲ以償還シタル起業公債元金ニ對スル現金ノ代リトシテ整理公債證書ノ交付ヲ望ムモノハ當籤證書ノ裏面ニ第一國立銀行若クハ三井銀行本支店又ハ代理店ノ證印ヲ受ケ來ル五月三十一日マテニ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ差出シ整理公債證書ノ交付ヲ請求スヘシ

一起業公債證書ノ利子ハ二十一年三月マテノ利子ヲ付シ整理公債證書ノ利子ハ二十一年四月下半月ヨリ之ヲ付スルモノトス

但二十一年五月三十一日ヲ過キ前項ノ請求ヲナスモノハ其請求ノ翌月ヨリ利子ヲ付ス

明治廿一年四月十一日　大藏大臣伯爵松方正義

雜報

○博士稱號　今度其筋に於て帝國大學の各分科大學長と始め在野の學士に博士の稱號と授與するとの事い曾て本紙上に記載せしが今又た聞く所に據れば今回同稱號を授與する學者い二十餘名にして就中十五名は已に内決したる由おれど其他は目下評議中おりといへり

○上野公園の美術展覽會　日本美術協會にて今度上野公園の櫻ヶ岡に新築せる列品館に於て開ける美術展覽會い一昨十日を以て其開會式を行ひしが當日は會長有栖川宮の祝詞佐野常民氏等の答辭あり式終り會員の案内にて一同陳列品を一覽し次て茶菓の饗應あり全く終を告ゆ去は四時半頃おりし今度の展覽會い四月十日より五月十日までの由にて陳列品を分ちて五區となし第一區は書畫、第二區は彫刻、第三區は陶器、第四區は漆器、第五區い織物にして陳列品中古製品い明治以前の製作に係り新製品は明治十八年以後の製作にして中には十八年前のものと雖も優逸おるものは參考品として出したるもわり要もそるに此度の出品は此まで餘り衆庶の目に觸ざるものわりて就中御手元よりの出品おる千鳥御香爐周の世の匠、麟盆、敔敦、其他大坂邊より出品せし奈良時代に彫刻物等何れも頗る珍らしきものなるべし嗟ゞ陳列品の未だ全く集らざるい人々遺憾の有樣なりしと當日は伊藤總理大臣黑田農商務大臣松方大藏大臣等も來會せし由なるが折惡しく降雨の爲允に格別の人出はなかりしと云ふ

○メッケル氏の勢力　此程歸國せし陸軍大學校の御傭たりし獨逸人メッケル氏は本國獨逸に於ても武官中非常に有名おる人にして何れの國も軍人の昇進は皆おの年限わりて容易に此期限内に昇等するを許さず獨逸は殊に軍律の嚴格なるにも關らず氏い其大尉より少佐の位に昇るゆ僅々の年月にして抜擢せられし人にて昨今歐洲多事なるの際氏ゞ天賦の器略と云ひ戰爭の經驗に富むと云ひ獨相ビスマルク公も未頼もしき軍人と思ひ居る程おれゞ氏の我陸軍大學校教授の任に當るゆ其教授方の規律正しき今度の參謀旅行中氏が計畫指揮せる意見の非凡おる我陸軍の武官として感服せしめし事少おからず去れば近年我陸軍にては漸く獨逸軍制を取り用ふるの折柄氏の三年間の滯在は一層我軍人として獨逸の軍制に通ずると同時に頗る獨逸風を慕ふの念慮を深からしめたりと云ふ

○高嶋技師　農商務五等技師高嶋米八氏は東北筋各鑛山の巡視として不日出發するよし

○第一調馬隊の分廐　陸軍省にては今度麹町區内山下町の旅監軍本部の跡を第一調馬隊の分廐に充つる筈にて家屋の修築に着手したりと云ふ

○滋賀縣商業學校の紛擾　同校にては過日來定期の試驗を執行せしが此程漸く結了せしを以て去る四日卒業證書の授與をなさんとて同校長教員を始め同縣書記官及び其他の官吏も臨場し皆失れ〳〵設けの席に就たる其式場に於て一人の生徒は突然進み出て同校授業の體裁試驗の方法等に就き滔々論辨し終りに同志者は寧ろ退校するの利あることゝ極言して其席を退きしより忽ち一場の紛擾となり折角の證書も或は受取らざる迄もありしよし元來同校にては近來何とおく職員と生徒とは間圓滑ならざる所わるより斯る始末に及びたるならんといふ

○福嶋師範學校生徒退校の理由　一時師範學校内の紛擾は流行物とおり東西各地に蔓延を聞ざるなき有樣なりしが其中にも福嶋師範學校の紛擾い甚しく生徒の退校を命せる〳〵者數多おりし事の次第は當時の時事新報紙上にも記載せしが去る五日同校にては又候廿二名の生徒に退校と命せし由電報の儘直に之と掲載せしが今其理由を聞くに廿二名の内十六名い今度の大試驗に落第せしものにて成績の見込おき者とし其餘の六名は小學校訓導たるの場合に至りしなる由なりと

○支那人移住禁止　議院に於て可決せるが近着米國所なるが近着米國にて可決せるを得たれは左の如し

二月廿九日合衆國務委員の編成したりそも今回の如何なる事情おるするの定めにして住を禁ずる事但とあるは凡て支那人移住の儀令へ諸外國の勞力者れ内に含ふ十七日合衆共和へられたる支那依り一旦合衆國六月七日の間に月間に歸國せず千八百八十二年を出立する時得經過それば大藏定したる條令に衆國内に入ると右の議案は現今を以てシャーマ議案を實行せるを請求すべしと唱へ二日間延い雄辯滔々として讓りて之を贊成今日支那人を放べく且つ近來支採用するの有樣不正と云ふべし吐露し遂にコーたるよし

○製茶の審査員　一昨十日今度茶委員として同地

○蠶業試驗場　餘名の生徒へ顯中よて本月下旬實業を傳習せし

○水産物試驗場　け驗藏魚類改良る筈にて本月中

○電電報下附　付捕鯨組士州捕鯨用に供せんと次郎氏と共に

○東京電燈會社　局の近傍にて近を增築し新に十附け且つ高さ四

○馬商會社　日